

## 46. シニアの数学科の授業支援によって生徒の健全育成、 学力向上

グループ名 : NPO 法人学校支援のべおかはげまし隊  
代表者 : 佐藤 邦典

### ①活動の目的

- シニアによる授業支援を「みまもり、よりそい、はげまし」の姿勢を基本にし、生徒たちの学習活動に寄り添うことで、授業態度の改善や学力向上を目指している。
- シニアにおいては日々の生活においてキョウイク（今日行く）とキョウヨウ（今日用がある）のある生活が可能になり充実した生活と生きがいがいづくりに繋がることを期している。
- 地域との交流が増え、学校と社会が連携した健全育成ができることを目指す。

### ②活動の概要

- 平成27年度は延岡市内9つの中学校において数学・理科の授業支援を行いました。
- 平成27年4月現在のボランティア数は134名でした。平成28年3月には151名に増えました。

#### 【数学の授業支援】

- \* 数学の毎時間、2～3名のボランティアが支援します。
- \* 授業中のボランティアの動きは、次のような手順で行っています。
  - 1) 授業に参加し、生徒と共に教師の説明を聴く。
  - 2) 授業に集中していない生徒に声掛けをする。
  - 3) 問題演習などに移った時に机間巡視をする。
    - ・間違っている箇所気付いたらそっと助言する。
    - ・鉛筆が止まっている生徒には、ヒントを与える。
    - ・正解であることを伝え、ほめる。(○をつける)
    - ・質問に答える。答えられない時には、教師に引き継ぐ。
- \* 昼休みや夏休みの勉強会で支援します。
- \* 活動の効果として（それぞれの声）

生徒は・・・「よくわかるようになった」「数学が嫌いではなくなった」

隊員は・・・「生徒が孫のようにかわいくて元気がもらえる」

「生活にメリハリが出てきた」「子ども達と一緒に勉強するのが楽しい」

教師は・・・「生徒たちの授業に取り組む姿勢がよくなってきた」  
「手の回らない部分をフォローしてもらって助かっている」

◇一緒に授業を受けながら「みまもり」



◇机間巡回しながら「よりそい」



◇「はげまし」 ペンの止まった生徒にヒントを与えます。



### 【理科の授業支援】

- \*火や薬品など危険を伴う実験を行う際や計算問題などが出て来た際に、教師からの依頼に応じて支援を行います。
- \*3名の理科担当のうち、都合がつく人が支援します。
- \*活動の効果として（それぞれの声）
  - 生徒は・・・「全然わからなかった問題が解けるようになって嬉しい」
  - 隊員は・・・「役に立てて嬉しい」
  - 教師は・・・「目が行き届かない時があるので、とても助かる」

### ◇理科の授業で濃度の計算のやり方を支援しました。

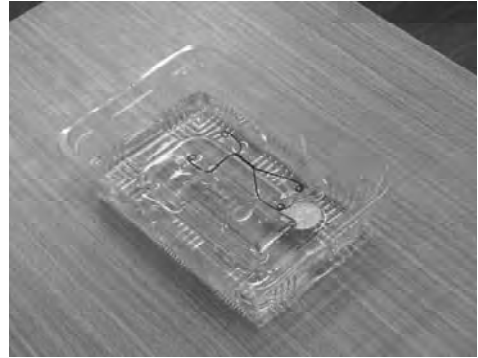


### 【おもしろ実験教室】

- \*特別支援クラスの生徒を対象に、身近にあるものを使って、目に見えておもしろい実験を行っています。
- \*理科の担当者3名で都合がつく限り参加しています。
- \*活動の効果として（それぞれの声）
  - 生徒は・・・「楽しい」「おもしろい」
  - 隊員は・・・「子ども達の喜んでいる表情を見ると嬉しい」
  - 教師は・・・「大人が見ても楽しい」「とてもありがたいです」

### ◇表面張力の実験風景





③決算報告書

収入	大同生命厚生事業団助成金	200,000円
支出	交通費補助	1,609,000円
	(内訳) 200円×数学支援のべ8037名	(1,607,400)
	200円×理科支援のべ8名	(1,600)
合計		1,609,000円